



経ヶ岬の米軍レーダー基地の警告看板に主権侵害の文言が発覚! 看板撤去の申し入れに対し、問題箇所が黒塗りされる!

「経ヶ岬通信所 (米軍レーダー基地)」が「運用開始」されて3か月が経ちますが、住民の「安全安心の確保」にかかわる問題は山積し、解決は先送りされたままです。騒音問題・低周波被害は、大型発電機にマフラー(消音器)をとりつけたことで、一定音量が下がったとされていますが、環境省の基準値を上回ったままであり、季節が移り窓を開けて過ごすことが多くなることを考えれば、終息をみるこ

日で15件に達し、人身事故も発生する事態となつています。これらの実態から防衛省が住民に説明・約束したことは反故にされているといわざるを得ません。ようやく米軍の基地司令と住民代表との懇談が実現した矢先に、「主権侵害」の立入禁止看板が掲げられるといったこともあり、この米軍レーダー基地が住民感情や日米安保をも無視する米本土防衛のミサイル防衛最前線であるという特異な性格をみせています。

とがない問題です。長らくホテル住まいをしてきた米軍人・軍属は「勝手に」民間住居に移り住んでいることがあきらかになりました。また、シエネガ社の警備の軍属68人用に住宅建設の計画がされていることも周辺住民の納得を得て

今後、米軍レーダー基地は二期工事がはじまり、軍人・軍属の生活関連施設が建設される計画です。自衛隊側も拡張取得した用地に基地施設再編の工事ははじめることになつていきます。地球規模で宇宙までも広がる戦争システムの



レインタカーのほか「Yナンバー」の米軍人私有車が徐々に増え、いつの間にかバス通勤もなくなつていきます。米軍関係者がかかわる交通事故は3月5

舞鶴にヘリコプター搭載護衛艦「ひゅうが」の配備が決定! Xバンドレーダーと合体した基地機能の強化を許さぬ運動を強めよう!

ひとつである経ヶ岬のレーダー基地は日米一体となつたミサイル防衛の前線拠点となつていきます。集団的自衛権行使の拠点・戦場となることで歯止めのない戦争への道を歩ませることはできません。戦争拡大につながる危険な基地の実態を知らなければ知るほど撤去させなければなりません。基地の存続する限り起こる可能性のある「犯罪・事故」も補償や責任をあいまいなままにすることも許せません。米軍の好き勝手をやめさせるよう全国のたたかいと連帯していきましょう。(京都平和委員会事務局 片岡 明)

舞鶴にヘリ搭載護衛艦「ひゅうが」配備される問題は、舞鶴がミサイル防衛の迎撃ミサイルの整備拠点であるとともに、水陸両用戦(つまり敵地上陸作戦)の艦艇をもつことになり、舞鶴に「ひゅうが」に搭載・運用することができ、舞鶴は当面5機購入する計画であることから、舞鶴基地にオスプレイをもつてくることに

[4月~6月の当面の日程]

- 4月18日(土) 拡大常任理事会
- 5月23日(土) 拡大常任理事会
- 5月30日(土) 理事会
- 6月13日(土) 京都平和委定期総会(以上ラポール京都)
- 6月21, 22日 日本平和委全国大会(奈良)
- 5月3日(祝) 5・3憲法集会(円山)
- 6月6日(土) 沖繩連帯円山集会



「2012年一般公開されたヘリコプター搭載護衛艦「ひゅうが」(京都平和委員会の基地資料集より)

もつながります。

平和の風

先日隣の班の方に誘われ、新婦人で、地元の中学校に『卒業式、入学式に「日の丸・君が代」の強制はないで」と、申し入れに行

った。思い出すと自分の息子たちの頃は、「立たない、歌わない」と親同士で誘い合つて頑張っていた。「日の丸」も麗々しく正面にということはなく、壇上ではあるが、校旗と並んでポールに立っていた。

あれから30年にもなる。1999年に、「国旗、国歌」と決められ、以来学校ばかりでなく日の丸はあちこちに常に掲げられるようになった。いまの若い人たちに

とつては、スポーツと結びついて、当たり前存在なのかもしれない。それでも毎年申し入れをしてきた努力はすごいと思う。申し入れをしたから取りやめになることはないが、私も、「日の丸・君が代」で国のために死ぬことが名誉という教育を受けた年代のものとして、今の情勢は大変心配だと思ひ今日は来させてもらった。心にとめて頂きたい」と言わせてもらった。(め)